



学校だより

やまゆり



2020年12月号
令和2年11月30日

横浜市立大口台小学校

神奈川県大口仲町460

学校からのお知らせを学校HPで日々発信しています(担当:副校長)

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/oguchidai>

「わくわく トライ 大口台」…2020 年末

校長 田川 斉史

1年前、年末の世の中の動きがこんな状況とは全く想像していませんでした。新型コロナウイルス感染症対策のこの1年は、全世界の歴史の大きな動きとして記録されていくことでしょう。

手指の消毒、マスク着用、三密の回避…。新しい生活様式の中で、わたしたちの生活や学校での学習や活動も「変化」がまだ続いています。対面にできない給食、下校後の消毒や清掃、毎朝の健康観察と体温の記録・報告…。もうしばらくは細心の注意と最大の対策を心がける必要がありそうです。



大草原で生きる野生動物は、自然界で定められた掟のもとにその命を続けています。「弱肉強食」「食物連鎖」生きていくための力関係と、気候や地殻変動などの自然の力に立ち向かって生きています。わたしたち人間も大昔はそうだったのかもしれませんが。火を扱い、刃物を作り出し、「便利」の引き換えに守らなければならない「ルール」が作り出されてきました。もし、大自然の中でありのままの生活することを「自由」というなら、「ルール」「決まり」の中で生活するのは対極にあることかもしれません。息苦しささえ感じますし、自主性のない世界ととらえることもできます。ルールの上塗り、積み重ねこそが人間の歴史とも言えますね。

しかし、ルールの多くが「マナー」「気配り」の延長にあると考えるといかがでしょう。相手が気持ちよくなることを進んで行う。すると、生活が潤う、人間関係が滑らかになる、笑顔が増える…。

例えば、満員電車で席を譲ることも、人込みでマスクをつけることも、廊下を走らないことも、意地悪なことを言わない(書き込まない)ことも、挨拶や御礼を、心を込めて言うことも、心から「ごめんささい」と言うことも、時間を守ることも…、みんな「ルール」や「決まり」ではありません。

でも、「マナー」「気配り」があるから、それができているから、心豊かに、わかり合って生活できると思うのです。

叱られないように生きるのではなく、認められ、ほめられて生きる喜びを子どもたちにも感じてほしいです。

わくわく!の年末年始ですが…

年明け休業を1月11日(月・祝)まで延ばす提言がありましたが、学校の冬休み延長はなく、年始1月5日(火)までが休みで、6日(水)から学校を再開します。

インフルエンザをはじめとした感染症のシーズンが本格化しています。例年にも増して、健康維持や感染防止の取組については各ご家庭でも徹底してお願いします。

引き続き、三密(密集・密閉・密接)を避けることや手指の消毒を行うことを中心に取り組んでください。

各種Gotoキャンペーン実施に伴い、年末年始には楽しいイベントやご予約があることでしょう。今までがまんしていた分、気も緩みがちです。ご用心ください。

♡12月4日~10日は人権週間

1948年12月10日、国連総会で「世界人権宣言」が採択されたのを記念し、1950年、国連総会で12月10日を「人権デー」と定め、全ての加盟国に実施を呼びかけました。日本では世界人権宣言採択の翌年の1949年、法務省と全国人権擁護委員連合会が、12月4~10日までの一週間を「人権週間」と決めました。12月10日は、日本だけでなく世界のいろいろなところでも「人権」について考える日になっています。

3日(木)の朝会では、盲特別支援学校の酒井副校長先生にお話をうかがいます。

